



2013年9月3日

報道各位

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト
共同委員長 長谷川 閑 史
((公)経済同友会 代表幹事)
柘 植 康 英
(中部経済同友会 代表幹事)

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第4期活動終了のお知らせ
～全国 338 社の参加を得て、被災 3 県の専門高校・大学などに 2.3 億円の支援を実施～
(これまでの支援総額は 11 億円に達しました)

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、犠牲になられた皆様に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

我々、全国の経済同友会は、大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の復興を中長期にわたって支援していくため、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」を立ち上げております。このプロジェクトは、被災地の人づくりや産業活性化に向けて、被災地に所在する岩手、仙台、福島各経済同友会の協力の下、各県などと協議しながら真に支援が必要な方々に対して、全国各地の企業・個人よりお預かりしたご厚志を半年ごとにお届けするプラットフォームです。真の復興に向けて“一歩一歩”進んでほしいという思いを込め、地域経済を担う若者を育成する農業、水産、工業などの専門高校に震災で失われた実習機材の提供、震災で保護者を亡くされた子どもたちを支える各県の支援基金への協力、新事業創造を担う国公立大学への支援などを行っています。

さる7月31日をもって、本年3月1日より開始した第4期活動が終了しました。企業・法人 338 社、個人 38 名の参加を得て、第4期分として頂戴したご厚志 2 億 3,447 万 700 円を次頁の通り、それぞれの支援先にお届けさせていただきます。なお、9月初旬より代表者が支援を行った各高校を訪問する予定であります。

本プロジェクトは、震災後5年間にわたり復興に向けた被災地支援を継続していく予定であり、これまでに実施した第1期～第3期までの活動と合わせ、総額 11 億円の復興支援を実施しております。9月2日より開始しました第5期活動(2013年9月2日～2014年1月31日)においても、全国の企業・個人の皆様にご協力いただきながら、専門高校への実習機材の提供などを実施して参ります。

報道各位におかれましては、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」の活動趣旨をご理解いただき、ご高配を賜りますようよろしくお願いいたします。

本件問合せ先：

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト運営事務局(経済同友会 事務局内)
藤井、丹野(: 03-3284-0316 / E-mail : ippo@doyukai.or.jp)

～ IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第4期活動概要～

(1) 募集期間：2013年3月1日(金)～2013年7月31日(水)

(2) 参加者数：企業・法人 338社(添付参照)、個人 38名

(3) 寄附総額：2億3,447万700円

(4) 支援内容

1) 専門高校への実習機材の提供

岩手県立専門高校 5,966万円相当

高田高校(播漬機、蒸し器、システム水槽など 1,979万円相当)

種市高校(フルフェイスマスク用片側通話装置など 1,188万円相当)

大船渡東高校(圧力容器、立体炊飯器 841万円相当)

宮古商業高校(POS管理集計用コンピュータなど 652万円相当)

宮古工業高校(実習用ミシン 40台など 453万円相当)

久慈東高校(吸引・経管栄養総合モデル、たん吸引装置など 305万円相当)

宮城県立専門高校 8,268万円相当

気仙沼向洋高校(冷凍・冷蔵室、デジタルメータなど 2,263万円相当)

宮城県農業高校(旋盤7台、トラクター及び付属品など 4,652万円相当)

宮城県水産高校(食器洗浄機、書庫、ロッカーなど 330万円相当)

福島県立専門高校 4,064万円相当

双葉翔陽高校(トラクター、小型貨物自動車 882万円相当)

平工業高校(スピードスプレイヤー 2,011万円相当)

相馬農業高校(ミキサー、油圧ショベル 600万円相当)

いわき海星高校(電動ジェットタガネ、海図机など 312万円相当)

2) 国立大学法人による復興事業への支援

岩手大学三陸復興推進事業 2,048万7,748円

東北大学被災地医療体験実習事業 500万円

宮城大学復興ステーションプロジェクト 2,000万円

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を(公社)経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立ていたしております。

以上

～ IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第 1 期活動概要～

(1) 募集期間 : 2011 年 10 月 11 日 (火) ~ 2012 年 1 月 31 日 (火)

(2) 参加者数 : 企業・法人 212 社、個人 18 名

(3) 寄附総額 : 3 億 4,150 万 8,947 円

(4) 支援内容

1) 専門高校への実習機材の提供

岩手県立専門高校	5,985 万円相当
高田高校 (小型トラック、冷凍冷蔵庫など)	2,634 万円相当
釜石商工高校 (情報処理実習室用 PC など)	1,903 万円相当
宮古工業高校 (空気調和実習室用機材など)	954 万円相当
種市高校 (和船、船外機、水中カメラなど)	623 万円相当
大船渡東高校 (調理実習用和洋中食器一式)	86 万円相当
久慈工業高校 (発電機、LED 投光器など)	55 万円相当
宮城県立専門高校	6,399 万円相当
宮城県農業高校 (52 人乗り大型バス)	1,746 万円相当
宮城県水産高校 (46 人乗り中型バス)	1,243 万円相当
気仙沼向洋高校 (同中型バス、被服室備品など)	3,410 万円相当
福島県専門高校	1 億 1,641 円相当
磐城農業高校 (鶏舎用設備、トラクターなど)	5,242 万円相当
いわき海星高校 (小型教習艇、端艇、ヨットなど)	6,399 万円相当

2) 国立大学法人による復興事業への支援

岩手大学三陸復興推進事業	2,000 万円
(三陸地域復興センター)	
東北大学災害復興新生研究機構	1,400 万円
(災害科学関係人材育成事業)	

3) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附

いわての学び希望基金 (岩手県運営)	3,156 万 2,567 円
みやぎ子ども育英募金 (宮城県運営)	2,556 万 2,568 円

第 1 期活動の支援先を決定した昨年 7 月の第 1 回運営委員会の開催時点では、福島県が設置運営する「ふくしま子ども寄附金」は設置されていなかったため、支援を実施しておりません (第 2 期活動では、支援を実施する予定です)。

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を (公社) 経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立ていたしております。

以上

～ IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第2期活動概要～

(1) 募集期間：2012年2月20日(月)～2012年6月29日(金)

(2) 参加者数：企業・法人266社(添付参照)、個人27名

(3) 寄附総額：2億6,812万6,113円

(4) 支援内容

1) 専門高校への実習機材の提供

岩手県立専門高校 7,428万円相当

種市高校(ポータブルコンプレッサー、潜水実習機材など2,794万円相当)

久慈工業高校(数値制御旋盤、ホイールローダーなど2,187万円相当)

大船渡東高校(精密平面研削機、ロックミシンなど1,141万円相当)

宮古水産高校(浮力調整器具、潜水具(レギュレーター)など529万円相当)

高田高校(マーク押機、ミシンなど447万円相当)

久慈東高校(電動介護リフト、電子セオライドなど106万円相当)

宮古商業高校(音響機器システム90万円相当)

宮古工業高校(電子セオライド86万円相当)

宮城県立専門高校 5,456万円相当

宮城県水産高校(移動式クレーン、マーク押機など3,309万円相当)

宮城県農業高校(スピードスプレイヤー、耕耘機など1,905万円相当)

気仙沼向洋高校(教師用師範台、生徒用被服台など241万円相当)

福島県立専門高校 7,714万円相当

福島工業高校(内燃機関性能実験装置1,377万円相当)

郡山北工業高校(立形フライス盤1,117万円相当)

小高工業高校(CAD、CAMシステム一式902万円相当)

二本松工業高校(6尺旋盤一式845万円相当)

勿来工業高校(ガスクロマトグラフィー式800万円相当)

安達東高校(ダブルキャブトラック530万円相当)

喜多方桐桜高校(旋盤一式499万円相当)

岩瀬農業高校(ダンプ494万円相当)

平工業高校(旋盤一式486万円相当)

修明高校(小型貨物車371万円相当)

相馬農業高校(蒸気ボイラー286万円相当)

2) 国立大学法人による復興事業への支援

<u>岩手大学三陸復興推進事業</u>	<u>1,222 万 7,023 円</u>
<u>東北大学東北未来創造イニシャティブ</u>	<u>1,222 万 7,023 円</u>
<u>宮城大学復興ステーションプロジェクト</u>	<u>822 万 7,023 円</u>

3) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附

<u>みやぎ子ども育英募金（宮城県運営）</u>	<u>722 万 7,022 円</u>
<u>ふくしま子ども寄附金（福島県運営）</u>	<u>1,222 万 7,022 円</u>

岩手県が運営する基金は、すでに必要な事業総額を上回る寄付が各方面より寄せられていることから、昨年 11 月の第 3 回運営委員会において支援しない旨を決定した。

4) 二本松市

<u>二本松市放射性測定センターへの寄附</u>	<u>1,000 万円</u>
--------------------------	-----------------

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を（公社）経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立ていたしております。

以上

～ IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第3期活動概要～

(1) 募集期間：2012年8月27日(月)～2013年1月31日(木)

(2) 参加者数：企業・法人 304 社(添付参照) 個人 31 名

(3) 寄附総額：2億6,350万2,465円

(4) 支援内容

1) 専門高校への実習機材の提供

岩手県立専門高校 7,886万円相当

久慈工業高校(シーケンス制御学習、CADシステムなど 2,086万円相当)

宮古水産高校(小型貨物自動車(2tトラック) 752万円相当)

一関工業高校(数値制御工作機 2,285万円相当)

釜石商工高校(数値制御工作機 2,580万円相当)

高田高校(ダイビングジャケットなど潜水実習器具 183万円相当)

宮城県立専門高校 4,437万円相当

気仙沼向洋高校(GMDSS無線設備(受信実習室) 3,713万円相当)

宮城県水産高校(シャルピー衝撃試験機、蜂の巣定盤など 724万円相当)

福島県立専門高校 1億635万円相当

会津農林高校(スピードスプレイヤー 829万円相当)

福島明成高校(スピードスプレイヤー 829万円相当)

白川実業高校(旋盤、内燃機関実習装置 2,046万円相当)

青陵情報高校(旋盤 490万円相当)

小野高校(トラクター一式 697万円相当)

会津工業高校(卓上走査型電子顕微鏡 992万円相当)

塙工業高校(ターニングセンター一式 1,807万円相当)

相馬農業高校(トラクター一式 934万円相当)

勿来工業高校(模擬送電線実習装置、シャーリングなど 2,009万円相当)

2) 国立大学法人による復興事業への支援

岩手大学三陸復興推進事業 1,100万円

東北大学東北未来創造イニシアティブ 300万円

宮城大学復興ステーションプロジェクト 892 万 275 円

3) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附

みやぎこども育英募金（宮城県運営） 300 万円

ふくしまこども寄附金（福島県運営） 800 万円

各県が運営する震災遺児・孤児の支援基金は、すでに必要な事業総額を上回る寄附が各方面より寄せられていることから、昨年 11 月の第 3 回運営委員会において第 3 期をもって支援を終了する旨を決定した。

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を（公社）経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立っていたしております。

以上